

【JT163AA-201（M タイプ）、JT164AA-201（M タイプ）

JT166AA-201（M タイプ）（パナソニック製）をご利用】

1. まず、現在の振込手数料テーブル設定を確認します。

- (1) メインメニューから次の手順で「為替手数料登録」画面を開きます。

「92. 為替手数料登録」を押下します。

画面左上の銀行コードが「0130」になっていることを確認します。

銀行コードが「0130」になっていない場合は、「確認」を押下し、銀行コードが「0130」と表示される画面まですすめてください。

- (2) 為替手数料登録画面で表示されている手数料が下記パターンの何れかになっていることを確認します。

「同店」手数料計算機能を有しないFDをお使いの場合は、「電信（同行 / 他行）」の部分の金額のみ確認してください。

< パターン 1 > EB 手数料が表示されている場合

基準の振込金額(以上)～(未満)	電信（同店 / 同行 / 他行）			文書（同店 / 同行 / 他行）		
1: 0 円 ～ 30,000 円	0	105	420	0	0	0
2: 30,000 円 ～ 円	0	315	630	0	0	0
3: 円 円						

< パターン 2 > 窓口手数料が表示されている場合

基準の振込金額(以上)～(未満)	電信（同店 / 同行 / 他行）			文書（同店 / 同行 / 他行）		
1: 0 円 ～ 30,000 円	315	315	630	0	0	0
2: 30,000 円 ～ 円	525	525	840	0	0	0
3: 円 円						

2. 振込手数料テーブルの変更手続きをおこないます。

【変更作業時期】

振込指定日が 3 月 31 日以前のすべての振込データの送信完了後、かつ、振込指定日が 4 月 1 日以降の振込データ作成前までに振込手数料テーブルの変更作業をお願いいたします。

(1) 下記の何れかの値に修正します。

カーソル移動は「次項目」キーが便利です。

「同店」手数料計算機能を有しないFDをお使いの場合は、「電信（同行／他行）」の部分の金額のみ修正（入力）してください。

<パターン1> EB 手数料で先方負担手数料を計算させたい場合

基準の振込金額(以上)～(未満)	電信（同店／同行／他行）			文書（同店／同行／他行）		
1: 0 円 ～ 30,000 円	0	108	432	0	0	0
2: 30,000 円 ～ 円	0	324	648	0	0	0
3: 円 円						

<パターン2> 窓口手数料で先方負担手数料を計算させたい場合

基準の振込金額(以上)～(未満)	電信（同店／同行／他行）			文書（同店／同行／他行）		
1: 0 円 ～ 30,000 円	324	324	648	0	0	0
2: 30,000 円 ～ 円	540	540	864	0	0	0
3: 円 円						

(2) 「入力終了」を押下します。

(3) 「1.プリントする」を押下します。

(4) プリントされた内容を確認します。

(5) これで振込手数料テーブル変更は完了です。

(6) 控用のFDをお持ちの場合は、控用FDの内容も修正いただくか、FDバックアップ操作を実施願います。

<ご注意>

振込手数料テーブル変更後に、はじめてデータ作成およびデータ送信をされる場合は、正しく振込手数料計算がなされたことを確認願います。

お問い合わせ窓口（銀行窓口営業日 9:00～18:00）

常陽銀行 EB センター：0120-013004